

ゆうたは、となりの いえの ペペが にがて
です。ペペは、白くしろて 小さな 犬いぬです。

ある 日ひ、ゆうたが かえって くと、にわ
で おかあさんが、となりの おばさんと はな
しを して いました。

「こんにちは。」

ゆうたが あいさつした とき、とつぜん、ペ
ペが となりの にわとの あいだの さくを く
ぐって、出でて きました。

こわい。ゆうたは
にげ出だしました。そこ

ろが ペペは、

「ワン ワン ワン。」

と、ゆうたの あとを



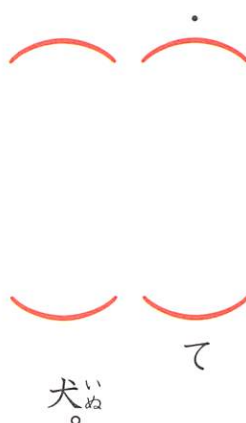
読よんだ日ひ

月がつ

日にち

① ペペは どんな 犬いぬですか。

() に あう ことばを
かきましよう。



② ペペが さくを くぐって
出でて きた ときの ゆうた
の きもちを、三字さんじで かき
出だしましよう。



おいかけて くるでは ありませんか。ゆうたが
スピードを ^あ 上げると、ペペも ますます はや
くおいかけて きます。ゆうたは なきそうです。

「ペペ、ストップ。」

おばさんが ^{おお} 大きな こえで さけび、ペペを
つかまえて くれました。

「**1** ね。ペペは、ゆうたくんにあそんで
もらえると おもったみたい。」

おばさんが あやまると、おかあさんは、

「ゆうた、はしるのは やかったじゃない。うん
どうかいでも、ペペに **2** もらえば、一

ばんに なれるかも しれないね。」

なんて、のんきな ことを 言って います。

ゆうたは、げん気^きに しつぽを ふって いる

ペペを ^み 見ながら、こんど、ペペと あそんで

みようかなと おもいました。



3 **1** ・ **2** に あう

ことばを ^{ひと} 一つずつ えらん
で、○を つけましょう。

1
ウ イ ア おねがい

2
ウ イ ア しかたがない
ごめんなさい

ア あそんで

イ おいけて

ウ つかまえて

4 ゆうたは、ペペを ^み 見なが

ら どう おもいましたか。

・ ペペと

かなと おもった。

花^{はな}は

どうして

さくの？

チューリップ、ヒマワリ、バラ、カーネーション。いろいろかたちも大き^{おお}さもちがう、さまざまな花^{はな}がありますね。

しよくぶつにとつて、花^{はな}は

どんなやくわりをもつてい

るのでしょうか。じつは花^{はな}には、

「たね」をつくつてじぶんた

ちのしそんをのこすとい

う、大切^{たいせつ}なやくわりがあるのです。

花^{はな}の中^{なか}には「おしべ」と「めしべ」が

あり、おしべの先^{さき}には花^かふんができます。

花^かふんがめしべの先^{さき}につくと、みになつ

読^よんだ日^ひ月^{がつ}日^{にち}

①

ヒマワリとバラの花^{はな}は、いろのほかになにかが違いますか。二つ^{ふた}かきましよう。



②

しそんをのこすために、花^{はな}がつくるものはなんですか。



て、たねが できます。

しよくぶつは じぶんでは うごけません。花^かふんを だれかに はこんで もらう ひつようがあります。そこで しよくぶつは、目立^{めだ}ついろの 花^{はな}や あまい みつを つかいます。さそわれて やってきた ミツバチや チョウなどの こん虫^{ちゅう}や とりが、からだに 花^かふんをくっつけて、はこんでくれるのです。



合あしに 花^かふんをつけた ミツバチ。

③ 花^かふんは どこに できま

すか。どちらかに ○をつ
けましょう。

ア おしべの 先^{さき}。
イ めしべの 先^{さき}。

④ しよくぶつに ついて、

―― に あう ことばを
かきましよう。

・ 目立^{めだ}つ いろの

や あまい

で こん虫^{ちゅう}や

を さそい、花^かふんを
はこんで もらう。